

## 将来像に向けての医療・介護機能強化の方向性イメージ

- 病院・病床機能の役割分担を通じてより効果的・効率的な提供体制を構築するため、「高度急性期」、「一般急性期」、「亜急性期」など、ニーズに合わせた機能分化・集約化と連携強化を図る。併せて、地域の実情に応じて幅広い医療を担う機能も含めて、新たな体制を段階的に構築する。医療機能の分化・強化と効率化の推進によって、高齢化に伴い増大するニーズに対応しつつ、概ね現行の病床数レベルの下でより高機能の体制構築を目指す。
- 医療ニーズの状態像により、医療・介護サービスの適切な機能分担をするとともに、居住系・在宅サービスを充実する。

【2011(H23)年】

### 医療提供体制改革の課題

- 急性期強化、リハ機能等の確保・強化など機能分化・強化
- 在宅医療の計画的整備など
- 医師確保策の強化など

### 規制同時改定(2012)の課題

#### 医療・介護の連携強化

- 入院～在宅に亘る連携強化
- 慢性期対応の医療・介護サービスの確保
- 在宅医療・訪問看護の充実など

### 療養病床 (23万床)

### 介護療養病床

など

- 介護保険法改正法案
- 地域包括ケアに向けた取組

### 介護施設 (92万人分)

など

- 年度末まで)猶予
- 24時間巡回型サービス
- 介護職員による略療吸引など

### 在宅サービス

など

【2015(H27)年】

### 高度急性期 (高度急性期)

### 一般病床 (一般急性期)

### 長期療養 (亜急性期等)

### 介護療養病床

### 介護施設

- 機能分化の徹底と連携の更なる強化
- 居住系・在宅サービスの更なる拡充など

### 高度急性期 一般急性期 亜急性期等 長期療養

### 地域に適した病床での対応

### 介護施設

### 居住系サービス

など

【2025(H37)年】

### 相互の連携深化

### 施設「から」地域「へ」・医療「から」介護「へ」

医療・介護の基盤整備・再編のための集中的・計画的な投資